

KAORI

KATO

《Fold and Beyond》「折り紙」2022年
レザン紙 作家蔵 © 岡本和之

加藤
かおり
展
紙 — 折る・ひらく

2022.9.23 fri.

▶▶ 12.11 sun.

神田日勝記念美術館
Kanda Nissho Memorial Museum of Art

休館日 毎週月曜日（祝日は開館）
10/11（火）、10/30（日）、11/4（金）、11/24（木）

主催 神田日勝記念美術館展覧会事業実行委員会
共催 神田日勝記念美術館、神田日勝記念美術館友の会
後援 鹿追町、鹿追町教育委員会／協力 とちぎ芸術文化振興機構

KAORI KATO

本展は、紙を素材とした造形作品やインスタレーションを手がける十勝の若手造形作家・加藤かおり（1986-）の当館初個展です。加藤作品の幾何学的で精緻な造形は、一見すると機械によって工業的につくられたものようですが、実際には作家本人の手仕事によって、さまざまな色と材質の紙を繰り返し折り込んでつくられています。大きく、重みのある紙と対峙しながら、手や指先の感触に意識を集中させ、ひと呼吸ずつ均一に作品を折りあげていくその「手わざ」は、どこか職人的でもあり、さらには、ペインティングナイフで一筆一筆作品を描きあげる日勝の描法をも思わせます。本展では、加藤の造形作品を館蔵品の神田日勝の絵画が展示されている空間の中でご覧いただけます。絵画と立体、近代美術と現代美術、ジャンルや時代をこえた2人の競演をお楽しみください。

PROFILE

1986年北海道中川郡幕別町忠類(旧広尾郡忠類村)生まれ。高校からオーストラリアに留学し、メルボルン大学Victorian College of the Arts(VCA)ドローイング学科入学。折り紙に着想を得て、紙を折り込んで作る立体作品やドレス、インスタレーションを手がけるようになる。2008年にメルボルンで初個展「Fold」開催、2013年に帯広で国内初個展「INTERACTION-対話」開催。2014年にラトビアのリガで「ペーパー・オブジェ・フェスティバル」参加、2015年におびひろコンテンポラリーアート「マイナスアート」参加など、国内外で個展、グループ展多数、カナダでの「ファッション・ウィーク」にも参加。2017年帯広市民劇場新人賞受賞、2022年「Paper on Skin Wearable Paper Art Tasmania」最高賞受賞。北海道阿寒湖温泉リゾートホテル「あかん遊久の里 鶴雅」に作品収蔵。

オープニング・イベント

参加無料(要観覧券)

本展開幕にあたり、作家によるアーティスト・トークとミュージアム・コンサートを開催いたします。

日時 9月23日(金・祝) 14:00~15:00

会場 本展会場

出演 加藤かおり(本展出品作家)
和光麗人(ヴァイオリン)
長尾崇人(ピアノ)

定員 40名程度

申込 TELにて申込(0156-66-1555)
申込期間9/1~9/18

加藤かおりアーティスト・トーク

(第20回日勝祭) 参加無料

作家が自らを振り返り、アートとの出会いや素材に「紙」を使うことのごこだわり等を、会場からの質問も受けながらお話しします。また、日勝の描法にも通じる「手わざ」の折りもご覧頂きます。

日時 12月8日(木) 19:00~19:30

会場 本展会場

定員 50名程度

申込 要事前予約(申込期間および方法は第20回日勝祭のチラシおよび当館HPでご案内します)

神田日勝記念美術館

Kanda Nissho Memorial Museum of Art

〒081-0292 北海道河東郡鹿追町東町3丁目2

TEL:0156-66-1555 FAX:0156-67-7855 <http://kandanissho.com/>

一般 530(470)円 | 高校生 320(260)円 | 小中学生 210(150)円

* ()内は10名以上の団体割引料金

* 障がい者手帳(身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳)持参の方は無料、介添者1名無料

* 鹿追町民・友の会会員は無料(身分証、会員証を提示)

* 北海道立帯広美術館で開催された特別展の半券(有効期限:チケット裏に記載)提示により、割引料金が適用(1枚につき1名1回限り有効)

* 福原記念美術館との共通入館券:一般700円、高校生300円、小中学生200円



写真左《Attune to the Earth》2010年
プリズマ紙 作家蔵



写真右《Series of Fold - 結》2022年
レザック紙 あかん遊久の里 鶴雅蔵

2022.9.23 fri. ▶▶ 12.11 sun.